

● 指導のポイント

学校教育目標

「学び 高め合い 認め合う大和中生」

～夢や目標を抱き、地域・社会に貢献する生徒の育成～

◎めざす生徒像

- ・夢や目標を抱き、学ぶ意欲を持ち続ける生徒
- ・心豊かで人に感謝し、感謝される行動のできる生徒
- ・自分を愛し仲間や地域を愛し、自分や郷土に誇りを持つ生徒

研究テーマ

生徒の実態に向き合い、未来をよりよく生きる力の育成

～考え議論する道徳科を要とした思いやりの心を育てる道徳教育を通して～

議論の仕組みづくり、**TT指導**、講師招聘による研究の推進

議論の中で人の意見をよく聴き、**共感**する心、**協力**し合う態度

カリキュラム・マネジメントの3つの側面

① 教科横断的、組織的配列

- ・教育内容を組織的に配列していくための体制の構築
- ・各教科等と道徳科の関連が見える化・共有化

昨年度の宝物
生徒のノート
教材ファイル
授業記録・板書
多様な教材の一覧

② PDCAサイクルの確立（授業改善を中心）

- ・P 推進リーダーによるコーディネート
- ・D 議論の仕組みづくり
- ・C 意識の変化の見取り
- ・A 授業スタイルの構築

新型コロナウイルス感染症の影響による
臨時休業中の取組の活用

- ◆道徳課題「生徒作文」
- ・道徳教材と似たこと
- ・地域探訪のこと
- ・感じたこと、思っていること等
- ◆キャリア教育及び道徳教育に係る地域人材の発掘・連携

③ 学校内外の人的・物的資源の活用

- ・校内教職員がGT(ゲストティーチャー)として参画
- ・研究だよりで授業改善の具体を共有
- ・キャリア教育&道徳教育に係る地域人材の活用
- ・三原市地域支援員(大和担当)を起点とした協力体制の構築